

かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

2022年
8月15日

No.209

かすかの
写真募集中

令和4年
6月定例会

12月

3月

定例会は
年に4回

9月

6月



ギカイを



見に行こう!

「いらっしゃいませ」

撮影者 あらしる みな 新城 美成さん

撮影場所 春日市役所大会議棟1F
ふれあいショップはるひ

撮影者の紹介はP16へ

もくじ

- 2 6月定例会での議案審査
- 5 すべての議案の議決結果
- 6 12人の議員が一般質問
- 11 全国地方議会サミット
- 12 オンライン議会報告会開催
- 14 政務活動費収支をお知らせします

5月に臨時会がありました



委員会付託議案:総務文教5件、市民厚生4件、地域建設0件 全ての議案はこちら⇒

委員会審査のうち2～5ページで主な議案についてご紹介します

税条例等の一部改正

地方税法などの一部改正に伴い、所要の規定の整備を図る



住宅借入金等特別税額控除(住宅ローン控除)の適用期限の延長に伴う規定の整備および上場株式等に係る配当所得等の課税方式を所得税と一致させるための規定の整備を図るもの。

問 納税証明書の交付手数料に係る規定の整備について、例えばDV被害に遭われている方の住所が漏れないよう、納税証明書ヘダミーの住所を記載して発行できるようにするとの説明であったが、現在から施行日までの約1年半の間にDV被害者などの住所が漏れることなどはあるのか。

答 現在DV被害届などを提出されている方に限り、市役所窓口でのみの発行とし、かつ委任状ではなく身分証明書を確認の上で本人にのみ発行する対応を行っているため、市民が不利益を被ることがないと考えている。

市立学校校舎校庭使用料条例の一部改正

市立小学校の校庭に設置する照明に係る使用料を新たに定める



問 照明使用料の積算根拠は。

答 実費として掛かる電気料金を試算して、平均的な金額を設定している。

問 簡易照明の使用料を設定することで、利用者に新たな負担が生じるが、その周知方法はどうか。

答 市ウェブサイトや市報などの周知に加え、スポーツ団体を通じて各団体にも周知を図っていきたい。また、それ以外の利用者にも漏れないよう周知を図っていききたい。

本会議での討論

吉居 恭子 議員

反対

スポーツ少年団や地域のスポーツクラブで活動する児童たちの健全育成を応援するためにも、簡易照明の電気代はこれまでどおり市の負担とする方が、子育て支援の対策として有効だと考える。

内野 明浩 議員

賛成

今年度、三つの小学校に簡易照明を設置する計画があることから、使用者に充分の負担をいただくため、電気料金の実費相当を照明料として新たに定めるもので、使用者の負担は必要最低限度に抑えられている。



スポーツセンター条例の一部改正

春日市立北スポーツセンターNHKラジオパークの野球場の照明に係る使用料を定める



問 小学校に設置する簡易照明の使用料は1時間当たり110円に対し、北スポーツセンターは220円になっている理由は何か。

答 小学校の簡易照明数は6灯、北スポーツセンターは8灯で、加えて、1灯当たりの消費電力も北スポーツセンターの方が大きいことなどが要因である。

本会議での討論

吉居 恭子 議員

反対

簡易照明は、試合ができるような本格的なものではない上、本野球場を利用し市民が健康増進を図ることで、市の医療費削減にも貢献していると考えられるため、新たに電気代として使用料を徴収することに反対する。

内野 明浩 議員

賛成

使用者に充分の負担をいただくため、電気料金の実費負担を照明料として新たに定めるもので、北スポーツセンターの簡易照明に係る照明料を負担することは、受益者負担、公平性の観点からも不可欠であると考えている。



令和4年度一般会計補正予算(第3号)

- 補正額 1億2,748万3千円増
■歳入歳出総額 367億1,484万3千円



地域子ども・子育て支援事業における新型コロナウイルス感染症対策事業

問 地域子ども・子育て支援事業補助金などの補助対象は。

答 保育所などの施設や各事業を対象としたものであり、新型コロナウイルス感染症対策のために必要な物品などの購入経費を支援するための補助金である。公民館などで自主的に実施されているものについては対象外となっている。

◆その他主な補正

- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 1億5,744万8千円増
□国民健康保険事業特別会計繰出金 526万2千円増

市営住宅条例の一部改正

市営住宅の単身での入居対象者の拡大・一定の世帯で入居条件の収入の基準を見直し



問 入居資格を拡充するに至った背景は。

答 DV被害者の公営住宅への入居に関する国土交通省からの通知に対応するものである。

工事請負契約の締結

春日南中学校体育館などの大規模改修工事



- 契約方法 一般競争入札(入札後審査型条件付一般競争入札(総合評価方式特別簡易型))
契約金額 2億 1,065万円
契約相手方 西村組・丸野工務店特定建設工事共同企業体

問 地元業者の受注機会の拡大について、どのように考えているのか。

答 地元業者がより多く参入しやすくなるように、入札の参加形態としては、JV(共同企業体)としている。JV方式の採用により、地域経済の活性化を図れるものと考えている。

工事請負契約の締結

双葉市営住宅(1期) 建設工事(建築本体工事)



- 契約方法 一般競争入札(入札後審査型条件付一般競争入札(総合評価方式特別簡易型))
契約金額 4億 5,100万円
契約相手方 吉原・キムラ特定建設工事共同企業体

新たな監査委員を選任



監査委員

任期は令和4年8月11日から4年間
まつお えいじ
松尾 英二氏(1期目)

【監査委員】

地方自治法において、監査委員は地方公共団体に識見を有する者および議員のうちから選任すると定めている。

6月定例会 議決結果一覧



議案番号	議案名	掲載ページ	議決結果	賛成	反対	公明党		創政会		翔春会		令桜会		春令会		春陽会		会派に所属しない議員		
						野口明美	岩切幹嘉	高橋裕子	原克巳	米丸貴浩	川崎英彦	飯田浩昭	白水祥太郎	中原智昭	迫賢二	船久保信昭	北田織	藤井俊雄	西村澄子	金堂清之
人事	監査委員の選任	2	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	税条例等	3	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市立学校校舎校庭使用料条例	3	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	スポーツセンター条例	3	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	市営住宅条例	2	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和4年度 一般会計補正予算(第3号)	2	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	-	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	工事請負契約の締結(春日市立春日南中学校屋内運動場他大規模改修工事(建築本體工事))	2	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負契約の締結(双葉市営住宅(1期)建設工事(建築本體工事))	2	同意	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書	4	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	シルバー人材センターの安定的事業運営のための適切な措置を求める意見書	4	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	主要農作物種子法にかわる福岡県独自の条例制定を求める意見書	4	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める意見書	4	原案可決	19	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告事項	令和3年度 春日市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について(令和4年6月6日受理)																			
	令和3年度 春日市一般会計予算事故繰越し繰越計算書について(令和4年6月6日受理)																			
	令和3年度 春日市下水道事業会計予算繰越計算書について(令和4年6月6日受理)																			
	審査請求に係る裁決について(令和4年6月6日受理)																			
	春日市土地開発公社の決算及び事業計画について(令和4年6月6日受理)																			
	令和3年度 春日市情報公開制度及び個人情報保護制度の運用状況について(令和4年6月6日受理)																			

※松尾徳晴議員(会派に所属しない議員)は議長職のため、表決権はありません。 ※○は会派代表者 ※欠は欠席者 (○賛成 ●反対)

◆地方自治法の規定に基づき、春日市の公益に関する意見書を国または県に提出します。



第2号意見書案 地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書



【提出者】原克巳 議員

【要旨】 地方公共団体においてDX(デジタルトランスフォーメーション)が進む中、国は令和4年夏までに、住民基本台帳や固定資産税など20業務について、システムの各仕様の策定を行うことになっている。一方、地方公共団体では、ガバメントクラウドの利用に向け標準準拠システムに移行していく予定だが、新型コロナウイルスの影響で財政状況も厳しく、また、デジタルの人材不足も深刻な状態となっている。加えて、高齢者などデジタル化に慣れていない方やネットの環境が整っていない地域もある。そのため、政府においては、システム導入に向け、地方公共団体の状況を踏まえながら、丁寧な情報提供と移行に伴う適切な財政支援を実施するよう要望する。

本会議での討論

吉居 恭子 議員 **反対**

「地方公共団体情報システムの標準化」は個人情報の民間企業への提供であり、情報漏えいリスクも含め国民に不利益である。仕事量が膨大になるため、税金を使い地方自治体に進めさせることには反対。

高橋 裕子 議員 **賛成**

今後、市民による行政手続の簡略化や新しいサービスを早く届けることが可能になる基幹系情報システムの全国統一化が図られる。本市の懸念を払拭する財政支援や情報提供を国に求める意見書案に賛成する。

第3号意見書案 シルバー人材センターの安定的事業運営のための適切な措置を求める意見書



【提出者】船久保 信昭 議員

【要旨】 令和5年10月に予定されている適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入に当たり、現在消費税納入義務が免除されているシルバー会員は、適格請求書を発行することができないことから、シルバー人材センターでは仕入税額控除ができなくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じるが、運営上新たな税を負担する財源はない。シルバー人材センターと会員間の取引は一般の商取引とは異なることを考慮し、シルバー会員配分金における適格請求書等保存方式(インボイス制度)の適用除外など、シルバー人材センターの安定的事業運営のための適切な措置を講じられることを求める。

第4号意見書案 主要農作物種子法にかわる福岡県独自の条例制定を求める意見書



【提出者】金堂 清之 議員

【要旨】 平成30年4月1日付け、国会における種子法の廃止によって、都道府県が行ってきた種子の改良や安定供給の取り組みに法的な裏付けがなくなり、我が国の食の安全・安心、食料主権が脅かされることにつながり、県民にとっても大きな問題である。地域の共有財産である種子を民間に委ねた場合、種子の独占や改良品種の特許権による市場支配、優良種子の価格上昇など、さまざまな問題が発生することとなる。現行の種子生産・普及体制を生かし、本県農業の主要農作物の優良な種子の安定供給や品質確保の取り組みを後退させることなく、さらに前進させるためにも、農業者や消費者の不安を払拭するために、種子法にかわる県独自の条例の制定を要望する。

第5号意見書案 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める意見書



【提出者】川崎 英彦 議員

【要旨】 障害者虐待防止法の施行から9年が経過し、相談・通報件数は年々増加傾向にある。しかし、精神科病院において看護師らによる患者への集団虐待事件が発生するなど障害者虐待事件は後を絶たない。新聞報道などによれば、虐待が起きた病院が自治体に通報したケースは半分以下といわれている。障がい者に対する虐待は障がい者の尊厳を損なうものであり、いついかなる場所であっても断じて許すことはできない。今後、障がい者への虐待を根絶していくためには、精神科病院など医療機関においても障害者福祉施設などと同様に、虐待発見時の通報義務や、通報した者に不利益などがおよばない保護的な措置を講じるなど、障害者虐待防止法の改正が必要だと考える。

令和4年第2回春日市議会

6月定例会の 視点・論点

1 意見書提出権の行使について

普通公共団体の公益に関する事件について、市議会は、地方自治法第99条に基づき、国や都道府県その他の行政庁に対し「意見書」を提出して問題の解決を求めることができる。今定例会では、各会派からさまざまな4件の意見書が提出され、すべて可決された。市民の意見や要望を議員間で議論を交わし、多くの結果を出せたことは、意見書提出の権利を行使することをもって、議会の大きな役割を果たせたものと考えられる。

2 議会BCPPの運用について

議会BCPPとは、災害発生時においても議会機能を継続させるために備えておく計画のことである。春日市議会は、平成30年3月に「春日市議会災害対応要綱」を定めたが自然災害のみを対象としていたため、昨今のコロナウイルスにみられる感染症には対応ができなかった。このことから、いかなる場合でも計画が対応できるよう議論を重ね、新たな「議会災害対応マニュアル(議会BCPP)」を策定し今定例会ではこれを準用、7月から運用開始とした。これにより、あらゆる災害時においても議会機能が継続できる体制が構築できたことは前進であった。

市民厚生委員会の新しい委員長が決まりました

令和4年6月22日の定例会終了後、市民厚生委員会において内野明浩議員から委員長を辞職したい旨の届が提出され、許可されました。それに伴い、同日付けで飯田浩昭議員が市民厚生委員長に就任することが決定しました。

基本目標 5

未来に向けた春日市役所の組織再編は




なかはら ともあき
中原 智昭 議員




問 現在子どもに関連する部署が複数あるが、さらに連携を深めるためにも、教育の中立性をしっかりと確保した上で、教育と福祉ではない、子どもの育ちに着目した切り口での一貫した行政組織が必要ではないか。

答 子ども関連部署の連携強化のために改善の必要性は感じている。また、社会経済情勢の変化に対応し、新たな教育行政課題や市民の多様なニーズに即応した施策を総合的かつ機動的に展開できるように、必要に応じて検討を行っていく。




基本目標 1

市制50周年を契機としたまちづくりについて



さこ けんじ
迫 賢二 議員




問 市制50周年を迎えた今であるからこそ、実行に踏み出す段階に入っていると思うが、長年の課題解決と都市の未来図の実現という大きなテーマに、どのような形で取り組んでいくのか。

答 3つの部門に分けて市内プロジェクトチームを立ち上げ、総合的な視点から検討を加速させていく。

問 社会福祉センターの建て替えの問題については、検討項目のひとつとして取り上げられているのか。

答 設置場所、機能などについて、具体的に協議、検討を進めている。



基本目標 2

本市の「教育の日」制定の考えは



にしむら すみこ
西村 澄子 議員




問 コミュニティ・スクールを先進的に進めてきた本市の「教育の日」の制定の見解は。

答 学校、地域、保護者の方々の日々の取り組みが、「教育の日」の趣旨と同じくするものと捉えている。


問 教育の重要性を認識し、教育のあり方を考えるきっかけとなると考えるが、教育長の理念は。

答 まずは「春日市の底力」と銘打って、学びと活動の振り返りを意図的、計画的に行い、それぞれの教育機能と教育実践を高めていく。




基本目標 2

特別支援教育の現状と今後について



ふなくぼ のおあき
船久保 信昭 議員




問 配慮が必要な子どもが見過ごされないように、教員による総合的な気付きの環境整備が必要では。

答 組織としての対応が重要で、複数の教員などで関わり、研修の充実とチーム学校の意識強化を進める。

問 入学前説明会時配付の発達障害に関する冊子を転入世帯へ配付や、誤解や知識不足解消のための啓発を実施願いたい。

答 啓発は重要であるため、転入生の保護者なども配付対象に加える。また、特別支援学級見学会の実施内容は見直しを行った。



一般質問

KASUGA

6月定例会では、12人の議員が市政に対する質問を行いました

- 第6次総合計画基本目標**
- 基本目標 1** 人と地域がつながり、豊かさとにぎわいを生み出すまち
- 基本目標 2** 安心して子育てができ、子どもがすくすくと成長できるまち
- 基本目標 3** みんなで支え合い、誰もが健やかにいきいきと暮らせるまち
- 基本目標 4** 良好な住環境の中で、安心して快適に暮らせるまち
- 基本目標 5** 持続可能で、市民から信頼される行政経営

今号から、一覧表の表記を本会議における発言順に変更しました。

いつでもどこでも



二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、YouTubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。

※ 春日市の一般質問は、
・「回数制」は3回まで質問ができます。令和3年3月定例会から、答弁も含め60分以内に終わらせるよう努めています。
・「時間制」は議員が質問できる時間(持ち時間)は40分です。40分以内であれば、何度でも質問ができます。
※ 議会だよりにおける一般質問の原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

訂正

議会だより208号9ページに記載誤りがありました。表中、飯田浩昭議員は「回数制」となっていますが、正しくは「時間制」です。お詫びして、訂正いたします。

発言順	議員名	分野	質問項目	回数制/時間制	掲載ページ
1	迫 賢二	1	市制50周年を契機としたまちづくりについて	回数制	7
2	中原智昭	5	春日市役所における組織再編について	回数制	7
3	船久保信昭	2	特別支援教育の現状と今後について	回数制	7
4	西村澄子	2	教育の日の制定について	時間制	7
5	高橋裕子	5	人事行政について	回数制	8
6	岩淵 穰	4	東浦西浦地区に関する報道への対応について	回数制	8
7	原 克巳	3	健康施策のさらなる推進について	回数制	8
8	内野明浩	1	春日市文化地域振興策について	回数制	8
9	野口明美	4	一般廃棄物処理とごみの出し方について	回数制	9
10	吉居恭子	4	豪雨災害の対策について	時間制	9
11	西川文代	1	協働のまちづくり推進に資する、すべての市民が集いやすくなる公共施設の在り方について	時間制	9
12	川崎英彦	2	通学区域の弾力的運用について	時間制	9

基本目標 4

異常気象による豪雨災害の対策について



よしい きょうこ 議員 吉居 恭子



問 星見ヶ丘地区の土砂災害対策は。
答 西浦新池のしゅんせつ、ゴルフ場側に流れる雨水減少のための水路補修と調整池などの機能改善・向上により、東浦西浦地区盛り土の大量流出防止策を講じるよう、開発事業者には是正を指導し、その対策実施を確認している。

問 各地区に防災士や防災リーダーを配置すれば、市民の防災意識の啓発、被災後の復旧に力を発揮できるのではないかと。

答 令和元年度から、各地区の自主防災組織の防災リーダー対象の研修会を開催し、人材育成に努めている。



平成30年の星見ヶ丘地区の土砂災害

基本目標 4

無料通信アプリで粗大ごみの申込みの考えは



のぐち あけみ 議員 野口 明美



問 粗大ごみの有料戸別収集の申し込みを市民の利便性向上のため、無料通信アプリLINEで24時間受け付け可能なシステムの導入と処理手数料のオンライン支払いの考えは。

答 無料通信アプリLINEで粗大ごみの申し込み受け付けができるよう、開発業者と協議を進めている。オンライン決済については、粗大ごみ指定シールを使用しない排出方法への変更を伴う場合は、条例を改正する必要がある。これらの課題を整理しながら導入について検討している。



基本目標 4

東浦西浦地区に関する報道への対応について



いわぶち ゆたか 議員 岩淵 稜



問 5月12日に県と市が合同で実施した盛り土点検の結果として「調整池のしゅんせつや水路の補修など、開発事業者に対し軽微な是正指導が必要な箇所があったが、直ちに近隣の住宅に危険が及ぶような箇所は確認されなかった」との報道がなされた。この判断に至った理由を問う。

答 盛り土総点検は国から都道府県に要請のあった通知に基づく点検方法により実施された。その点検により大規模災害につながる亀裂や段差が確認されなかったことによる。



点検の様子

基本目標 5

人材育成や働き方改革で組織力のアップを



たかはし ゆうこ 議員 高橋 裕子



問 幹部職員が市長と同じ思いで、職員へさまざまな機会に組織の共通の価値観や組織目標を分かりやすく伝え、組織への共感を引き出すことが重要と考える。折に触れ、職員の成長が組織の成長につながり、ひいては市民福祉の増進に結びつくことを伝えて欲しい。

答 私は職員と協働のまちづくりの思いを常に共有することを念頭に置き対話している。幹部職員が率先垂範で現場を重んじる姿こそ、地に足の着いた人材育成。それが市民福祉の増進につながっていくと確信する。



今定例会の一般質問は12人です

全12項目の一覧は6ページへ

基本目標 2

近くの学校に通う隣接区域選択制について



かわさき ひでのこ 議員 川崎 英彦



問 学校選択制を導入した、ある自治体の保護者アンケートでは「学校選択制はいい制度ですか」の問いに小学校の80%以上が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答。子どもが安心して通学できる近くの学校だが校区が違えば通学できない現実がある。入学説明会やアンケートなどで保護者の意見を聴取しているのか。

答 本市では通学区域制度の原則に沿った運用を行っており、広く保護者の意見を聴取することは行っていない。



楽しそうに通学する小学生

基本目標 1

協働のまちづくりに資する公共施設の今後は



にしかわ ふみよ 議員 西川 文代



問 ぶどうの庭の耐震補強対策は急がれると考えるが、それも含め具体的なスケジュールは。

答 本年度中には議会に関係予算を提案し、耐震化に併せて、関係者と協議しながらより活用しやすい施設になるよう改修を進めたい。

問 じよなさんはバリアフリーなどの性能評価、利用状況、運営費などの評価が低く、他施設への複合を検討するとの方向性だが、検討は進んでいるのか。

答 ふれあい文化センターなどが立地する市中央部に集約できないか検討しているところである。



春日まちづくり支援センター・ぶどうの庭

基本目標 1

春日市文化地域振興策について



うちの あきひろ 議員 内野 明浩



問 小倉地区では、つばき庵新築・住吉神社改築に合わせて地域文化継承の機運が高まっている。地元で伝わるお祭り「嫁ごの尻たたき」の市指定無形民俗文化財に向けての見解は。

答 「嫁ごの尻たたき」は、市の指定文化財の候補に相応しい貴重な文化財であり、小倉地区において保存継承されるべきものである。市指定文化財とすることへの地元の理解や機運の醸成を捉えて、来年度を目標に本市文化財保護条例に基づく必要な事務を進めたい。



つばき庵

基本目標 3

アピアランスケアの推進について



はら かつみ 議員 原 克巳



問 がんの治療に伴う脱毛や手術による傷など、外見の変化や心理面に対するケアのことをアピアランスケアという。本市においても、福岡県の推進事業を活用し、医療用ウィッグなどの購入費用の助成を行うべきと考えるが見解は。

答 医療用ウィッグや補正下着などの補正具などは、患者の心理的負担を軽減し、療養生活の質の向上や社会参加の促進につながるものと認識している。そのため、これらの購入費用に対する助成については今後検討する。



全国地方議会サミット2022に オンライン登壇!!

オンライン議会報告会の取り組みを実践紹介



当日の大隈講堂の様子

5月12日、早稲田大学大隈講堂にて開催された「全国地方議会サミット2022(ローカルマニフェスト推進連盟主催)」に、松尾徳晴議長と米丸貴浩広報広聴委員長がオンライン登壇しました。

このサミットは毎年全国の地方議員や議会事務局職員などを対象に開かれるもので、今年のテーマは「デジタルで広がる・つながる・深まる議会改革」でした。

この中で、「各地で進むオンライン議会」と題し、これに取り組む地方議会の事例紹介と意見交換が行われ、春日市議会は昨年10月に実施したオンライン議会報告会について発表をしました。

まず松尾議長が、平成22年から行っている議会報告会を令和2年度はコロナ禍で開催を見送ったこと、議会の情報発信をいつまでも止めるわけにはいかず、令和3年度に初のオンライン形式により議会報告会の実施に至った経緯について報告をしました。

続いて米丸広報広聴委員長が、若い世代の参加を促すため平日開催を土曜日開催に変更したことで学生の参加が増え、これまで気付かなかった視点での意見が寄せられたといった成果の一方、活発な意見交換のカギとなるファシリテーターのさらなるスキル(技能)向上が課題であるなどを報告しました。

コーディネーターや会場からは、ファシリテーター研修について、また、これから春日市議会が目指す姿はどのようなものか、議会報告会を和やかで楽しい雰囲気にするためにはなど、多岐にわたる質問が寄せられました。

今回、春日市議会は初めて全国規模のサミットに参加しました。

無理せずやれる議会報告会の実践紹介が、これからオンライン議会報告会を目指す他の議会の参考になったのではと思うと同時に、春日市議会にとって今後につながる大きな布石となったと考えます。

福岡女学院大学 22名の大学生が議会見学!!

5月31日(火)に、福岡女学院大学の大学生と議会運営委員会委員6名とで意見交換を行いました。これは、同大学の授業において設定された課題、「春日市における若者の主権者意識の醸成と投票行動の促進」に対する情報収集や解決策検討のために議会を知ることとを目的としています。

議場を見学後、6班に分かれ大学生からさまざまな質問を頂きました。



大学生からの質問

- ・共同投票所の設置予定はありますか？
- ・選挙割を行う予定はありますか？
- ・議員をやってよかったと思う時は？
- ・給料はいくらですか？
- ・今の学生に思うことは？ など

令和4年
5月23日

第2回

春日市議会臨時会

□令和4年度春日市一般会計補正予算(第2号)について

■補正額 10億1,722万3千円増 ■歳入歳出総額 365億8,736万円



- ・子ども応援給付金給付事業 5億9,688万5千円
- ・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 2億1,831万5千円
- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 9,280万6千円

問 新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金の
充当先を、子育て世帯へ重視
した理由は。

答 コロナ禍の長期化で学びや育ちに大きな影響を受けている子どもたちを市全体で応援し、コロナ禍からの脱却に向けた活力向上の波を子育て世帯から広げていきたいため。また、原油価格・物価高騰への対応のためである。

議決結果	賛成	反対	公明党		創政会		翔春会		令桜会		春令会		春陽会		会派に所属しない議員	
			◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
令和4年度春日市一般会計補正予算(第2号)	19	0	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
税条例の一部改正	19	0	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
都市計画税条例の一部改正	19	0	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
国民健康保険税条例の一部改正	19	0	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○

※松尾徳晴議員(会派に所属しない議員)は議長職のため、表決権はありません。

※◎は会派代表者 (○賛成 ●反対)

2021議会改革度ランキング

※早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度調査結果

	今年度	昨年度
総合ランキング	584位(福岡県内21位)	459位(福岡県内15位)
情報共有分野	201位(福岡県内6位)	155位(福岡県内4位)
住民参加分野	841位(福岡県内30位)	533位(福岡県内22位)
機能強化分野	640位(福岡県内26位)	875位(福岡県内37位)

- 調査対象期間 2021年1月1日~2021年12月31日
- 調査対象 都道府県議会および市区町村議会 全1,788議会
- 回答状況 回答数 1,355議会 / 回答率 75.8%

各分野で昨年度よりランクダウンとなりましたが、毎年、調査内容に若干の変更があるため、単純に比較はできないと考えています。
今後も、より一層議会改革に取り組んでまいります。



議会を知ろう! 議会報告会

オンライン(Zoom)で開催!!

春日市議会では、議会基本条例に基づき、平成22年度から毎年度「議会報告会」を開催しています。昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、オンライン(Z o o m)での初開催となりました。今回は、3月定例会において各常任委員会から報告された、所管事務調査の中間報告について、議会報告会を開催しました。

当日は19人の方にご参加いただきました。貴重なお時間とご意見をありがとうございました。



開会あいさつ

最初に参加者の皆さんに対し、松尾徳晴議長からあいさつがありました。

意見交換会では、忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしく願いたします。



1部 委員会報告 (所管事務調査中間報告)

各常任委員会が所管事務調査として取り組んでいるテーマについて、中間報告を行いました。

所管事務調査のテーマ

- 総務文教委員会** 「教育環境のさらなる充実について」
- 市民厚生委員会** 「障がい者福祉の現状と支援について」
- 地域建設委員会** 「人と地域がつながり、良好な住環境の中で安心して暮らせるまちづくりについて」

令和4年度春日市議会
議会を知ろう!
議会報告会 オンライン(Zoom)開催
5月21日(土) 10時~11時30分
参加者は市内に在住・在勤・在学の方

【所管事務調査のテーマ】
総務文教委員会 「教育環境のさらなる充実について」
市民厚生委員会 「障がい者福祉の現状と支援について」
地域建設委員会 「人と地域がつながり、良好な住環境の中で安心して暮らせるまちづくりについて」

【申込方法】
このQRコードから申込ください。

【注意事項】
意見交換に際し、グループ分けをしますので、参加希望の委員会をお選びください。
申込時のID・パスワードにZoom参加用のURL・ID・パスワードを送信します。
事前にオンライン会議アプリ「Zoom」をパソコン・スマホ・タブレット等にインストールし参加ください。

【申込締切日】
5月19日(木)午後4時まで。

【問合せ】
春日市議会事務局 092-584-1113
gikai@city.kasuga.fukuoka.jp

【内容】
1部 委員会報告 (所管事務調査中間報告)
2部 意見交換会(グループごと) 議員と意見交換を行います。

委員会報告の動画と資料データはこちらの二次元コードからご覧ください。

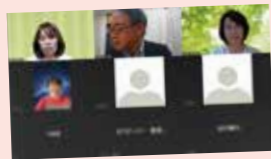


2部 意見交換会



2部の意見交換会は、常任委員会ごとのグループに分かれて行いました。1部で報告があった各常任委員会の所管事務調査の中間報告について、さまざまなご意見を伺いました。

議員や学校からのお知らせにより、以前から議会に関心があった高校生の参加が大変嬉しかったです。意見交換の中で、コロナ禍の中での高校生の思いや工夫も聞け、市民との意見交換も出来ました。「子どもや学生へ分かりやすい報告書を作ってほしい」「議会報告会を引き続き開催し続ける事が大切」とのご意見も頂きました。



障がい者福祉の現状と支援について、さまざまなご意見、ご要望を伺うことができました。なかでも、ご本人やご家族に障がいをお持ちの参加者からは、日ごろ、私たちが気付かない課題を提示していただきました。障がいがあってもなくても、お互いの多様性を認め合える地域共生社会の実現に向け、意義のある報告会となりました。



「まちづくり」について印象的だったご意見は、「公共施設内に飲食やくつろぎの場が少ないのでは」「市役所内『はるひ』を見つけにくい。周知を」「県道31号線光町から岡本は歩道の段差が高く危険」「コミュニティバスの本数が増え、商業施設や駅に直接行けるようになれば」「自治会費徴収の手法は現状のままで良いのか」などでした。



本音の意見や素朴な疑問が発信され価値ある意見交換の場でした。「このような機会を増やすことで、暮らす中での課題を伝えることができ、政治、議会を身近に感じることができる」「学校の備品の購入でもっと必要なものがあるのに、と生徒間で話すこともあり、予算を執行する際は、生徒の意見、現場の意見を聴いてほしい」など貴重な意見も頂きました。



意見交換を受けて

所管事務調査の中間報告に対し頂いたご意見は、それぞれの委員会で情報を共有し、政策立案に活用することになります。

本年12月の定例会中に開かれる全員協議会において、頂きましたご意見を踏まえ各常任委員会は調査報告案を提示、説明します。

さらにこれを受けて、来年3月定例会の最終報告へ向けて最終調整を行うこととなります。

令和3年度

政務活動費 収支をお知らせします

各報告書、領収書の詳細は、ウェブサイトでご覧いただけます。

「令和3年度政務活動費収支報告書」はコチラ



報告書や領収書をチェック!

政務活動費って?



政務活動費とは、議会の審議能力を強化するため、議員または会派の調査研究などの活動に対して、その費用の一部を助成するものです。

地方自治法により、議会の議員の調査研究その他の活動に資するため必要な費用の一部として、その議会における会派または議員に対し、政務活動費を交付することができますと規定されています。

また、交付を受けた政務活動費に係る収支は議長に報告する必要があり、議長は、その使途の透明性の確保に努める必要があります。

どういう活動に使ったの? 余ったの?



令和3年度の各会派、議員ごとの収支の一覧は下の表のとおりです。また、より透明性を図るため、平成28年度から収支報告書、調査研究・研修報告書、領収書を公開しています。

なお、年度末で残額がある場合は返還し、支出額が交付額を超える場合は会派や議員が負担します。

政務活動費の使い道は?



交付対象や交付額、充てることができる経費の範囲などは条例で定められおり、さらに使途基準を定め適正な執行に努めています。

【充当できない経費の例】

議会活動の報告などを行う広報紙の印刷代、パソコンなどの備品購入費、私的な相談活動に要する経費など

※令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で先進地視察などができなかったため、執行率が低い傾向となっています。

交付対象	公明党	創政会	翔春会	春令会	令桜会							
議員の氏名	野口明美 岩切幹嘉 高橋裕子 原 克巳	米丸貴浩 川崎英彦 飯田浩昭 白水祥太郎	中原智昭 迫 賢二 船久保信昭	西村澄子 金堂清之	北田 織 藤井俊雄		岩淵 穰	内野明浩	松尾徳晴	吉居恭子	西川文代	
交付額	600,000円	600,000円	450,000円	300,000円	300,000円		150,000円	150,000円	150,000円	150,000円	150,000円	
調査研究費	0円	0円	8,440円	5,700円	0円		2,850円	2,850円	0円	3,480円	6,230円	
研修費	180,262円	342,938円	22,500円	129,045円	26,220円		7,500円	10,800円	7,500円	11,555円	15,500円	
広報費	0円	0円	0円	0円	0円		0円	0円	0円	0円	0円	
広聴費	0円	0円	0円	0円	0円		0円	0円	0円	25,346円	0円	
要請・陳情活動費	0円	0円	0円	0円	0円		0円	0円	0円	0円	0円	
会議費	0円	0円	0円	0円	0円		0円	0円	0円	0円	0円	
資料作成費	0円	0円	0円	0円	0円		0円	13,747円	0円	0円	250円	
資料購入費	115,896円	24,728円	1,925円	44,170円	93,402円		0円	26,180円	0円	64,240円	87,396円	
人件費	0円	0円	0円	0円	0円		0円	0円	0円	0円	0円	
事務所費	0円	0円	0円	0円	0円		0円	0円	0円	0円	0円	
事務費	56,192円	46,088円	60,508円	36,429円	9,514円		11,698円	37,582円	11,522円	26,715円	12,735円	
支出額合計	352,350円	413,754円	93,373円	215,344円	129,136円		22,048円	91,159円	19,022円	131,336円	122,111円	
執行率	58.7%	68.9%	20.7%	71.7%	43.0%		14.6%	60.7%	12.6%	87.5%	81.4%	

市の事務に関する先進地視察旅費など

研修会やセミナーなどの参加費や旅費など

市民相談会の開催に要する費用や住民アンケートなどの印刷費など

一般質問の際のパネル作成に係る経費など

政治経済などに関する雑誌、専門誌の購読料

印刷用紙、インク、ファイル用品など

各会派支出額

政務活動費の交付対象となる事例



施行条例



政務活動費の使途基準





あらしろ みな
新城 美成さん(写真右上撮影者)
障害者就労支援センターゆり工房

応募のきっかけ

障害者就労支援センター「ゆり工房」が outlet している市役所の「ふれあいショップ はるひ」で毎日楽しく働いています。一緒に働く中で、障がい者の皆さんは、障がいの無い人の何倍も努力をし、日々頑張っておられることを、市民の皆さんにも知っていただき応援して欲しいなと思ったので応募しました。

春日市の良い所

上の子が3年生の時に春日市に来て、3人の子どもを育てました。公園や公民館など、子どもといっしょに過ごせる場所が近くになり、コミュニティ・スクールなど地域の人たちとも親しく交流できて、子育てがしやすい街だと感じます。

春日市や春日市議会に望むこと

障がい者のことを知らない人も多いので、春日市には「理解が進むような取り組み」をして欲しいです。また、一般市民は議会や議員さんとの関りが少なく、分からない事もたくさんあるので、もっと身近に感じられるような発信をしてもらえるといいなと思います。

最後に

春日市役所のふれあいショップ「はるひ」とともに、春日小(学校)横の「交流スペース・オルゴール」にも、みんなで一つつ心を込めて焼き上げた「どこか懐かしい毎日食べたいパン」やスイーツがあります。ちょっと一休みできるカフェもあり、施設内の見学もできるので、ぜひいらしてくださいね。

会期日程 令和4年 9月定例会

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
				本会議 (提案説明)		
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 議会運営委 決算審査委	決算審査委 (審査)	常任委員会 (審査)	常任委員会 (審査) 広報広聴委	常任委員会 (審査)	
11	12	13	14	15	16	17
	決算審査委 (審査)			本会議 (一般質問)		
18	19	20	21	22	23	24
	敬老の日	本会議 (一般質問)	常任委員会 (採決)	決算審査委 (採決) 広報広聴委	秋分の日	
25	26	27	28	29	30	1
	議会運営委 常任委員会	常任委員会	本会議 (採決)			

※日程は都合により変更になることがあります。

委員長 米丸 貴浩
副委員長 吉居 恭子
委員 原 克巳
委員 西村 澄子
委員 西川 文代
委員 白水 祥太郎

広報広聴委員会

きよこ
新型コロナ第7波に入り、先は予測できませんが、議会傍聴、YouTube視聴、議事録検索など駆使し、市政に参加していただけけたらと思います。

あなたの写真が表紙に!

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。ご応募お待ちしております。



次号210号
令和4年11月15日発行

9月20日
メー

表紙応募方法の
詳細はコチラ▶



編集後記

6月議会終了日に、参院選が公示されました。

経済の停滞、コロナ禍、ウクライナ侵略の中で「平和と経済」の願いを託す選挙でした。

選挙終盤で元総理大臣への銃撃という衝撃的な事件が起こり、今後の国のあり方を考えさせる選挙ともなりました。(心より、ご冥福をお祈り申し上げます。)さて、生活者の視点では、異常気象による各地の災害、コロナ禍での倒産・生活の破綻、マスク生活や行動制限による子どもたちの成長への影響など、思い浮かぶだけでも難題山積です。こうした課題を、いかに透明性を持って良い方向に持っていけるか、各自治体と議会の力が試されることです。